

平成
23年度

予算を可決

賛成 討論

市税収入が伸び悩む一方で、生活保護費をはじめとした扶助費が増え続ける厳しい財政状況の中、市民の生活を第一に考え、事業仕分けの結果なども踏まえながら、限られた予算の効果的配分が図られていることを高く評価する。

子育て支援については、「すこやか子育て事業」の開始や市立幼稚園における3歳児保育の実施など、元気なまちづくりについては、北関東自動車道の全線開通や群馬デスティネーションキャンペーンの実施に伴うまちのにぎわいの創出など、安全・安心なまちづくりについては、医師確保対策をはじめとした桐生厚生総合病院への積極的支援などの施策に対して、特に期待を寄せているところである。

厳しい社会経済情勢が続く中、市民の生活を守ることに最優先という考え方に従って、「子育て支援」、「元気なまちづくり」、「安全・安心なまちづくり」を三本柱とした効果的な予算配分に努めたところである。

平成二十三年 度 予算編成については

事業の選択にあたっては、事務事業総合評価や事業仕分けの結果も踏まえながら、個々の事業の必要性や費用対効果などを十分に精査したところである。

子育て支援に ついては

平成二十三年度から新たに「すこやか子育て事業」

反対 討論

度重なる負担増の政治の中で、苦しい状況にある市民生活を守ろうという姿勢が極めて弱く、国の押し付け行革に従った行革方針により、サービス削減やさらなる負担増が予定されていることには賛同しかねる。

特に、子供の教育環境よりも財政効率を優先させようとする学校統廃合の推進は、日本一の子育て都市実現という市長の公約に逆行するものであり、同時に地域の衰退に拍車をかける要因にもなりうる。

また、市民の家計を圧迫し、その生活を脅かすほどに過重となっている税負担のあり方に改善が見られない国民健康保険事業や将来における保険料値上げが想定されている一方で、十分なサービスが提供されていない介護保険事業にも賛同しかねる。

今年七月から九月に予定されている「群馬デスティネーションキャンペーン（群馬DC）」を県外からの

観光に ついては

老朽化した浄水処理施設の抜本的改善を図るために、水道創設九十周年を迎える平成三十三年度を目標に、梅田地区内に新しい浄水場を建設しようとするものである。

平成二十二年度に「浄水処理等検討委員会」が行っ

を開始する。この事業では、子育て中の親が子供と一緒に外出しやすい環境づくりをより一層推進するために、動物園や遊園地をはじめとした公共施設のトイレにおむつ替えシートやベビークチェアを設置することを予定している。また、「桐生発イクメンプロジェクト」を新たに立ち上げ、男性の育児参加を促進するための講演会やイベントなどを積極的に実施したいと考えている。

誘客推進に最大限活用したいと考えている。同期間中には、鉄道事業者や旅行会社などの連携によるさまざまな誘客イベントを開催する中で、市の三大市（古民具骨董市、買場紗綾市、楽市座）の紹介をはじめとした「まちなか観光」の積極的PRに努めたいと考えている。

新浄水場の 建設については

平成十七年度に策定した「小中学校耐震・大規模改修計画」に基づいて、順次校舎等の耐震改修工事を進めているところであり、平成二十四年度を目途に、すべての改修工事を完了させる予定となっている。

学校施設の 耐震化については

た浄水処理方式等に関する検討の結果に基づいて、平成二十三年度には、当該施設建設に向けた基本設計を実施する予定である。

一般質問を中止

三月十六日から十八日までの三日間にわたり、二十二人の議員により行われる予定となっていた一般質問は、東北地方太平洋沖地震にかかわる市当局の市民への対応に配慮し、中止としました。